

## 目次

■新コース	VMware View: Install, Configure, Manage [V4.5] VMware vSphere: What's New[V5]バウチャー付
■セミナー	1月20日クラウド時代に間違わない人財育成投資セミナー
■トピック	Inst. Tech View～第8回 “Ciscoデバイスのバックアップ” ～
■コラム	スーパーエンジニアの独り言 第6回 “電子書籍の名前”

## 新 | コ | ー | ス |

## ◆◇ VMware社認定 デスクトップ仮想化コース リリース! ◇◆

VMware社認定コースである、VMware View: Install, Configure, Manage [V4.5] をリリースいたしました。  
 昨今急速に普及が進むデスクトップ分野の仮想化技術を学習するコースです。  
 BCPにおいても有効なデスクトップ仮想化技術を是非ご検討下さい。

VM31 : VMware View: Install, Configure, Manage [V4.5]

期間 : 4日間  
 価格 : ¥281,400 (税込)  
 詳細 : [http://www.school.ctc-g.co.jp/vmware/index.html#top\\_vm](http://www.school.ctc-g.co.jp/vmware/index.html#top_vm)

## ◆◇ VMware社認定 vSphere5 新機能解説コース ◇◆

vSphere4までは学習してきたが、vSphere5も習得しなければならない。  
 とはいっても、また1から学習するのは時間も費用ももったいない。  
 そんな技術者の方向けの、新機能速習コースです。  
 VCP4を取得済の方であれば、本コース受講後にVCP5の受験も可能です！  
 (2012年2月29日までにVCP5に合格された場合、VCP認定とみなされます)

VM08V : VMware vSphere: What's New [V5] (試験バウチャー付)  
 VM08 : VMware vSphere: What's New [V5] (試験バウチャーなし)

期間 : 2日間  
 価格 :  
 VM08V : 試験バウチャー付 ¥176,400 (税込)  
 VM08 : 試験バウチャーなし ¥155,400 (税込)

詳細 : [http://www.school.ctc-g.co.jp/vmware/index.html#top\\_vm](http://www.school.ctc-g.co.jp/vmware/index.html#top_vm)

※CTC教育サービスならではの特典！※  
 ・1人1Podの演習環境をご提供  
 ・CTCオリジナル演習資料をご用意  
 ・試験受験支援「スキルチェックシステム」の無料利用  
 などなど

## セ | ミ | ナ | ー |

## ◆◇ クラウド時代に間違わない人財育成投資 解説セミナー受付開始! ◇◆

クラウド時代という不確かな時代において、人材育成とはどうあるべきか、  
 また技術者の育成についてはどのように戦略化し、実行していくべきなのか解説します。  
 特に実践的な技術者体制を築き上げるためには、仮想技術だけではなく  
 ストレージの技術取得が必須です。仮想化の基礎からストレージの技術まで  
 仮想化に関する来年の人財育成プランのご参考になれば幸いです。

開催日： 2012年1月20日（金） 14:00 - 17:00 （13:30 受付開始）  
 会場： CTCテクノロジー・駒沢ラーニングセンター（受付2F）  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/map/komazawa.html>

定員： 30名（参加無料）  
 お申込： <http://www.school.ctc-g.co.jp/seminar/index.html>  
 対象： ユーザー企業における人事担当者、研修企画担当者  
 主催： CTCテクノロジー株式会社  
 共催： 日本IBM人財ソリューション株式会社  
 お問い合わせ CTCテクノロジー株式会社 エデュケーションサービス部  
 TEL： 0120-667230

【第1部（14:05-14:45）】

クラウド時代の技術者育成戦略

講師：日本IBM株式会社 システム製品事業部 第一ソリューション推進  
 佐々木 言 様

【第2部（14:55-15:35）】

クラウド時代に必要なスキルと取り巻く環境

講師：CTCテクノロジー エデュケーションサービス部 藤江 一博

【第3部（15:45-16:25）】

バーチャルクラスによるIBMストレージ研修ご体験

講師：日本IBM人財ソリューション 市川 三吉 様

【第4部（16:30-17:00）】

CTCテクノロジーの仮想化研修はここが違う！

講師：CTCテクノロジー エデュケーションサービス部 増田 裕介

トピックス

◆ 『 Inst. Tech View～第8回 “Ciscoデバイスのバックアップ” ～ 』 ◆

今回はCiscoデバイスにおける設定のバックアップに関して紹介致します。

例えば、新しい機器やサービスを導入する際や、発生してしまったトラブルを解決する際は、現在の設定情報から設定変更を行います。  
 この時、設定変更したことにより、トラブルを引き起こしてしまったら・・・。  
 万が一の場合に備え、設定ファイルのバックアップを自動的に作成してくれる機能が「設定アーカイブ機能」です。

Cisco IOSにおけるコマンド例は下記の通りです。

■設定方法

```
Cat2960(config)#archive ;アーカイブ機能の有効化
Cat2960(config-archive)#path flash:/Archive/
;アーカイブファイルの保存ディレクトリ
Cat2960(config-archive)#write-memory
;設定保存時に自動的にアーカイブを作成(オプション)
Cat2960(config-archive)#time-period 1
;定期的(本例では1分間隔)にアーカイブ作成(オプション)
```

本例ではFlashメモリにアーカイブを作成していますが、pathコマンドによりネットワーク上のサーバを指定することもできます。

■確認方法

・アーカイブファイルの確認

```
Cat2960#show archive
The next archive file will be named flash:/Archive/-(timestamp)-6
Archive # Name
1 flash:/Archive/Nov-14-15-31-04.634-0
2 flash:/Archive/Nov-14-15-32-05.217-1
3 flash:/Archive/Nov-14-15-33-05.548-2
4 flash:/Archive/Nov-14-15-34-05.853-3
```

ctc1215  
5 flash:/Archive/Nov-14-15-35-06.159-4  
6 flash:/Archive/Nov-14-15-36-06.465-5 <- Most Recent  
※出力は一部省略しています。

・アーカイブファイルの表示  
Gat2960#more flash:/Archive/ファイル名

・現在の設定 (running-config) との差分確認  
Gat2960#show archive config differences system:running-config flash:/Archive/ファイル名

■復元方法  
Gat2960#configure replace flash:/Archive/ファイル名

---

今回は、トラブルを迅速に復旧するために、アーカイブ機能を紹介致しました。  
また、CTC教育サービスでは、トラブルシュートの研修を提供しております。  
コース内では、原因の切り分け方法やトラブル発生後の効率的な復旧方法などを、  
よくある事例を交えながら紹介しております。  
今後、業務においてCiscoデバイスを扱われる方、実践力を磨いていきたい方、  
是非ご検討ください。

ネットワークトラブルシュート  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/cisco/N609.html>

コ | ラ | ム | \_\_\_\_\_

◆◇ 『スーパーエンジニアの独り言 第6回 “電子書籍の名前” 』 ◇◆

今回の話題は、急速に浸透し普及が始まった電子書籍の話題を取り上げます。

以前であれば電子ブックやザウルス文庫、近年でケータイ小説と様々な形で電子書籍は昔から囁望されていたものではありませんが、最近になり本格的に普及の兆しがみえます。紙の書籍を凌駕するのではないかと危惧される程、脅威に感じるムーブメントを牽引する要因の一つに、電子書籍リーダーが各社から続々と発売されている現状が挙げられます。それにも増して急激に普及したスマートフォンやタブレットにより自然と読み手側の環境は整いつつあるのは事実です。

コンテンツを提供する側としては Amazon、Appleを筆頭に紙媒体での書籍をデジタル化して扱う試みが市場に投入され、影響は既に日本に及んでいます。但し、音楽や映画、新聞、それらデジタル化可能な媒体と同様、雑誌や書籍に於いても様々な懸念が山積されている状況ではありません。しかしながら、インターネットが誘発するパラダイムシフトが波及しているこの過渡期に、新たな価値観や体験を共有していく流れは止められない状況です。

問題は普及の鍵となる標準化であり、電子書籍に於いても他と同様です。配布メディアのフォーマット形式は「書籍」を購入する消費者にとっては重要な問題です。購入した本を「いつまで読むことができるのか？」に直結するからに他ありません。つまり標準化は最重要課題であり日本に於いても産学連携の活動が見受けられますが、標準化では過去の例示で明白な様に国際標準が肝要となります。インターネットが関係するので尚更です。

この命題に対しては、電子書籍フォーマット「EPUB 3」が勧告されたことが現状で一番近い回答になりそうです（2011年10月11日に発表されました）。「EPUB 3」は電子書籍フォーマットの国際標準仕様を策定している団体であるIDPF (International Digital Publishing Forum、国際電子出版フォーラム) が発表した仕様です。EPUB 3では、W3Cで策定中のHTML5をベースとしたオープンな電子書籍フォーマットとされ、縦書きやルビなど日本語を含む多国語での表示を可能にしている国際化仕様となっているとの事です。また、将来Web標準となるHTML5をベースにしていることもあり、各ブラウザ実装が期待できる上に各種電子書籍リーダーでも採用される見込みです。

今後は「EPUB 3準拠」などとしてリーダーやコンテンツが登場することで消費者が書籍を購入しやすくなる環境が整ってくる事が予想されます。

将来EPUBが普及するならば、EPUB後継仕様／実装には以前に購入した書籍を閲覧可能にする、変換や後方互換性を伴うことにも期待したいものです。

ところで、好きな本は時間が経った後で、何度か読み返したいものです。何故なら、読む本が同じであっても読み手である自分自身の変化によって理解できる箇所は増し、また受け取る事の出来る印象や味わいも大幅に変わってくるものだと思うからです。

この点については電子書籍ではなく、「紙の本」をご紹介します。  
昨年末に出版された「もうすぐ絶滅するという紙の書物について」です。

著者はウンベルト・エーコ氏とジャン＝クロード・カリエール氏。対談本です。ジャン＝クロード氏はフランスの脚本家、俳優であり、ウンベルト・エーコ氏は、著名な小説『薔薇の名前』の作者です。この小説ではウィリアムとアドソの師弟コンビが正にホームズとワトソンを想起させます。他のエーコ作品でも意図的に歴史的背景や他の文学作品へのオマージュとも言えるアナロジーや蘊蓄を含んで描写しています。ですから「紙の書物について」でも愛書家である彼等が蘊蓄の博覧会という様相を呈しています。紙の本に対する愛情とデジタル化されたメディア論に博識を以て一石を投じた内容です。

機会があれば、綺麗に装丁されたこの「紙の本」も御一読ください。

先程紹介した作品『薔薇の名前』は、ショーン・コネリー主演で映画化されています。舞台は活版印刷術が普及する以前の教会で写本の時代です。修道士が手書きで複製した大切な「写本（知識）」が図書館の火事によって、儚くも失われるせつなさが神々しくもあり荘厳にその無常が謳われています。

活版印刷の発明が「書籍」の普及を可能にしたことで、個々に保有する知識や技術、果ては心情に至る情報を伝播する方法が確立しました。また、過去の人々の経験を擬体体験する、または信条や考察を垣間見る、更には空想の世界を旅することを可能にしてくれました。書籍を通じその時代に生きている人々の考えや行動に影響を与え世界を変えてきたのは揺るぎない事実です。

現代ではインターネットにより様々な境界を超えての情報交換が劇的に簡易化されました。これに加えて、電子書籍が国境の制約を越えて、知識の流通が始まるとなれば、新たな時代への変革を更に足早に迎えることになるであろうと想像されます。

直近ではAmazonは先行する音楽配信と同様に電子書籍もウェブアプリ版の提供を始めています。現行の主要なブラウザに対応した実装は、HTML5ベースであり、ローカルストレージ新機能の採用によりオフラインの閲覧も可能にしていることが大きなメリットの一つとなっています。また独自でAmazon Silkという革新的なウェブブラウザを自社のKindleに搭載する事でオンライン／オフラインの連携をEC2(サーバ側)とSilk(クライアント側)で処理を分散する仕組みを提供することで、「シームレスな環境」の実現を期待させます。「継ぎ目が無い」状態が、インターネットを快適にするために越えるべき大きな象徴の一つであると考えられますが、電子書籍はその解決策の1つの候補として登場しているのかもしれません。

「もうすぐ絶滅するという紙の書物について」を図書館で電子ブックリーダー片手に読む日も遠くないのかもしれません。では次回をお楽しみに。

関連コースの詳細情報はこちら：

「クラウド・仮想化 基礎／入門」関連コース  
<http://www.school.ctc-g.co.jp/cldvir/>

---

■お問合せ・ご意見・ご感想は◆CTC教育サービス◆窓口まで  
シーティーシー・テクノロジー株式会社 エデュケーションサービス部  
E-Mail : [kyouiku@ctc-g.co.jp](mailto:kyouiku@ctc-g.co.jp) / TEL : 03-5712-8701

---

●外部委託について

弊社はメールニュース配信業務をシーティーシー・ビジネスサービス株式会社（CTC100%出資子会社）に委託しております。

●本メールマガジン編集・配信責任者

CTCT エデュケーションサービス部 部長 篠原 義一

ctc1215

所在地：東京都世田谷区駒沢1-16-7 ctc\_edu\_mail@ctc-g.co.jp

●個人情報保護方針

CTCグループの個人情報保護方針につきましては下記URLをご参照ください。

[http://www.ctc-g.co.jp/guide/security\\_policy.html?top=b\\_security](http://www.ctc-g.co.jp/guide/security_policy.html?top=b_security)

●配信中止及びお問合せ対応について

- ・「CTC教育サービス News&Topics」の配信が不要な場合には、下記URLから配信停止のお手続きを行ってください。  
<https://krs.bz/ctc-g/m/ctc-education>
  - ・当社では、複数種類のメールマガジンやメールニュースを発行しております。大変お手数ではございますが、CTC教育サービス以外からのメール配信についての受信拒否および個人情報に関するご要求は、各メールに記載の個々の連絡先宛にそれぞれご連絡をお願いします。
  - ・受信者ご本人様からの個人情報の開示・訂正・削除に関するご要求は、随時 ctc\_edu\_mail@ctc-g.co.jpにてお受けいたします。
-